

治療した部位と治療方法

1 問診診察結果 (小次郎人形)

- (1) 左腕が抜けている。図-1
- (2) 腕の付け根が割れている。図-2
- (3) 腕の取り付けるときで中に入る部分の一部が欠けている。が、支障はないでしょう。図-3・図-5



図-1



図-2

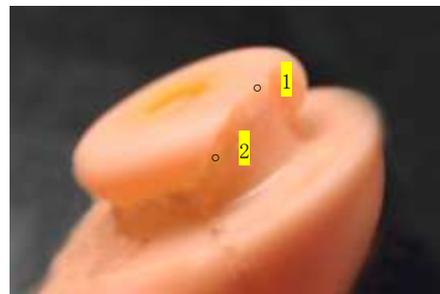


図-3

※ 図-3 は、一回目のボンド付した時のもの。1-2の間は、肉が厚く PP ボンドで丈夫に接着している。
 ※ 図-2 は、肉がすごく薄いために PP ボンドでも接着が弱く、また、本体肩部を熱するのが不十分で一回目に差し込む時に破れた。

2 治療の方法

- (1) 図-2 の肉薄部分の接着について、ボンドだけでは接着が十分ではないことが分かった。そこで、考えたのが、図-4 のようにボンドを付ける前に、5ヶ所二重糸で引き寄せて括る準備をした後にボンドを付けて、糸で引付けて1回括る。そして、糸を絞めたままの状態、瞬間接着剤を付け固定する。

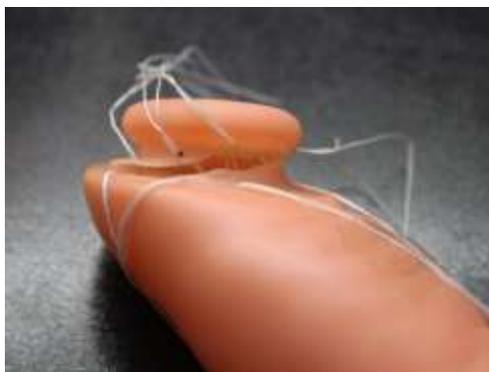


図-4

※2回括らないのは、結び目の突起を少なくするためと、合わせて2回目を括るときに絞めている糸を緩めないため。

- (2) 上記の方法で、5ヶ所を処理し、乾燥後余長の糸を切り一晩乾燥させた。

※ 黒い点は穴ではなく針を通す位置の印をマジックで示したもの
 図-4・図-5

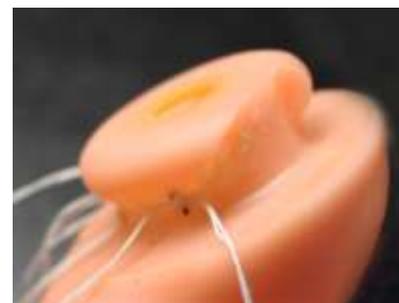


図-5

- (3) 二重の糸で絞めて固定することで、完全な接着及び補強をすることができた。



図-6 治療完了の左腕と本体



図-7 治療に用いたppxボンド



図-8 試に用いた同質人形

- (4) 図-8 の白い粉は、試に用いた人形を精密糸鋸で挽き作ったもの。薄い肉部が上下重ならない部分の補強に使用した。

(5) 組立には、経験がなく当初苦労があった

ア 食器洗剤の液を腕の本体の中に入の部分に塗り、本体側にも塗って入れようとしたが入らない。

イ 次に試みたのが、図-9のようにヘアドライヤーで温めたが、温めすぎて変形してもいけないと思い、控え目に温めた場合は、冷えるのも早く入ってくれなかった。



図-9 ヘアドライヤーで温める

ウ 三度目は、十分に温めて変形直前くらいまで温め、柔らかくしてから食器洗剤の液も十分つけてやると、今度はすんなり入ってくれた。

エ 図-10 から図 15 に完成した状態の写真を披露します。

最初の三枚は上半身裸で、しっかり治癒していることを示すものです。



図-10 左手上



図-11 左手前



図-12 左手下



図-10 左手上



図-11 左手前



図-12 左手下

3 ドクターからのアドバイス

無理に腕を引抜こうとすると今回のように壊れます。
特に冬の寒いときなどは、注意が必要です。ヘアドライヤーで十分温めてから抜くと良いでしょう。

お渡し予定日：平成29年1月21日

担当ドクター：谷 春 雄